

2021年滋賀県人権教育研究大会（甲賀湖南大会）開催地での活動から

～「心の差別をなくしたい」 地域のなかで国際交流ができる環境づくり～

甲賀市国際交流協会「世界まなびじゅく」の思いや願いにふれて

阿部公子さん（理事）・大河原佳子さん（事務局長）から、活動の原動力や人権課題克服への思いについて、お話を伺いました。

「世界まなびじゅく」では、日本の子どもたちが外国の方との遊びや活動をとおして他の国のことや文化を知る取り組みを年3回開催しています。

阿部さんからは20年前に「ブラジルの方といっしょに交わる機会がないからつながりたい。」との思いで当時近くにあったブラジル人学校と交流したことや、サンタナ学園（愛荘町）との交流活動のようすを紹介いただきました。大河原さんは、コロナ禍の状況のなかでも実施ができたのは「信念をもって取り組んできた。」と、活動への思いを話されました。

地域社会での取り組みを、各校園所での人権学習での学びや実践に生かしたいと思います。

●「世界まなびじゅく」取り組みへの思いや願いについて聞かせてください。

「滋賀に住みだしたころ、ブラジルの方が多いと実感していました。ある日、電車で隣の席にブラジルの方が座られたとき、なぜか「ドキドキ」としたことがあります。『なぜ心がざわめいたのか』が活動の出発点です。今の子どもたちは、生まれたときから外国にルーツのある人たちが身近にいる環境で生活しています。私のような思いを感じずに過ごすことは幸せなことだと思います。日常から外国を感じられる環境が大切なことを学びました。」（阿部さん）

「何度も参加してくれる子どもたちが、ここ数年増えています。また、子どもたちの活動をいっしょにみまもっている親も増えています。『活動を楽しみにしている』との声や、興味や関心が高まっているようすが実感でき、励みになっています。参加者全員で活動に取り組むこともあり、大きな学びを得ることができました。」（阿部さん）

「コロナ禍でオンラインでの活動となりましたが、ブラジルの現地と直接つながるという新しい試みが実現できました。学校に登校できない状況・生活のようすや文化の違い・貧富の差の現実などがリアルに伝わってきました。子どもたちの心にも響くものがあったと感じています。」（阿部さん）

●参加者のようすからみえてきた、コロナ禍のきびしい現実や社会で取り組むべき課題について聞かせてください。

「学校が再開した当初は、子どもたちの反応が薄く声が出ないようすが気になりました。今は会話や活動も増え、元気を取り戻しているようすが感じられます。長期休校中は、親の方が学習に影響しないかを心配するようすを感じていました。休校中に学校から多くの課題が出たが、家で教えてもらえない家庭の子どもから、再開前に『学校に行きたがらない』と相談を受けることがありました。いろいろな立場の方の生活背景を知ることが大切だと思っています。」（阿部さん）

「外国にルーツのある方は、情報に触れるタイムラグがあります。そのことに対する不安が強いことも実感しました。学校が休校になったとき、母語支援の先生や学級担任の先生方がご家庭に直接伝えに行き、一人ひとりに対応したことが『もっとも分かりやすかった』との声がありました。情報を伝えることへの意識を再確認することができました。」（大河原さん）

「活動をとおして、参加者からは『もっと話がしたい』との思いが伝わってきました。コロナ禍でなくなっている、しゃべる機会や集いの場の大切さを感じています。」（大河原さん）

●「反差別」への思いについて聞かせてください。

「外国文化に対する違和感が子どもたちにあるときもあります。2時間の学習のなかで子どもたちの価値観や考え方が変容するくらいの意気込みで取り組んでいます。子どもたちの気づきや、差別・偏見を取りのぞくことをおさえながら学習をすすめています。」（阿部さん）

「世界まなびじゅくの取り組みは、ステレオタイプで物事をみないことが理解できる場です。心の差別をなくす大きな取り組みだと考えています。」（大河原さん）

甲賀市国際交流協会の概要・活動の紹介

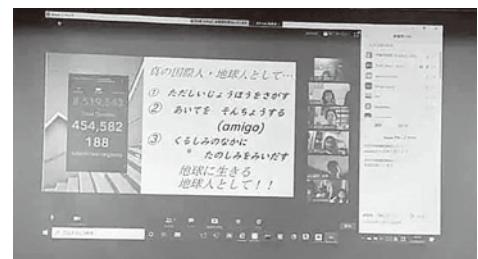
まちの「人財（たから）」でつなぐ、心とこころ。国際理解推進事業、国際交流事業、ともにいきる地域づくり事業を通して、甲賀市の「まち」と「ひと」の国際化、多文化共生の地域づくり、地域で顔の見える関係づくりのための取り組みをされています。

昨年度は、大河原さんが滋賀県人権教育研究大会（栗東大会）、全国人権・同和教育研究大会（三重大会）の分科会で発表をされました。実践報告「『ひと』をつくるんだよ！～甲賀市国際協会の活動を通して～」では、だれもが安心安全に暮らすことができる多文化共生の地域づくりへの思い、人の出会いや心を込めて話を聴くことを大切にしてきたあゆみから学びました。

★連絡先：TEL：0748-63-8728 FAX：0748-70-6468 ★Email：mifa@mx.biwa.ne.jp



「世界まなびじゅく」のチラシ



オンラインでの交流活動のようす

